

講義名	研究演習			
講義コード	15414	授業形態		開講期・曜日・時限
担当教員	三谷 哲雄		サンパリング・コード	SEM350

学部・学科	演習分野
経済学部・経済学科/経済情報学科	地域まちづくり分野（演習名：道路交通まちづくり）

概要説明

注意
PDFファイルでは全ての内容が表示されない場合があります。必ずRYUKA Portal内で表示されるシラバスのWebページを確認してください。
2024年度までの入学学生向けカリキュラムの科目「研究演習I」「研究演習II」「卒業研究」は、それぞれ「研究演習I」「研究演習II」「研究演習III(+卒業論文)」に置き換えられました。2024年度までの入学学生は、このシラバス内の科目をそれぞれに読み替えてください。

↑ 簡易版 ↓

対象学生：経済学部（のみ）

テーマ：道路交通まちづくり

よりよい地域まちづくりを目指して、都市や街での暮らしにおける交通に関わる様々な「どうなっているの?」「何が問題?」「どうすればいいの?」を考え、それを科学的に解き明かすための情報技術を知り、それを活用した演習を行います。

申込み条件：ゼミ配属希望申込の前に必ず、シラバスやゼミ紹介資料を熟読し、本学HPの教員プロフィールや三谷研究室HPにて教員のことを確認し、必ず三谷ゼミの個別相談に参加し、ゼミ内容や方針を十分に納得の上で申し込むこと

↑ 詳細版 ↓

1. 概要

(1) 基本方針
当ゼミは、所属ゼミ生が「ネアカ、のびのび、へこたれず」なビジネスパーソンになるための、ささやかではありますが、そのお手伝いをします。特に、何事にも「へこたれず」な精神、そして「のびのび」と実力を発揮するために必要なスキルと自信、これらの育成に力を入れています。

(2) 学びの概要
専門ゼミとしてのテーマは、「道路交通まちづくり」です。よりよい地域まちづくりを目指して、都市や街での暮らしにおける交通に関わる様々な「どうなっているの?」「何が問題?」「どうすればいいの?」を考え、それを科学的に解き明かすための情報技術とその活用法について学びます。具体的には、道路交通に関わる様々な知識とともに、地域を構成するさまざまな要素を「情報」として捉え、地域に関わる情報の処理（地域情報処理）技術やその各種分析手法を学びます。さらにGISと呼ばれる情報システムほか、様々な情報技術を援用して、実際の地域を対象にした情報収集、それに基づく現象把握、そしてデータ構築から分析、考察、まとめ、発表までの一連の研究プロセスを体験します。

主な卒業論文のタイトル

必要ならば三谷ゼミの個別相談の時に聞いてください。

教員からの要望

要望というよりアドバイスです。

就職活動においては、「学生時代の取り組み（やその姿勢、成果）」が少なからず重要視されます。上記の「4つの場」の提供は、当ゼミの大きな特徴です。そしてそこでの高密度な活動は、「学生時代の取り組み」の話題として事欠きません。

職場では、最初でこそ研修と称して「様々な学ぶ場」を提供してくれます。そこから社会人のルールやマナーをはじめ、様々なことを学びます。しかし、それが終わると、教科書もなければ、先生もいません。しかも、現場は分からない事だらけです。さらに、ビジネスの現場では、多様で変化の激しい社会に迅速に対応していかなければなりません。このため、社会人（ビジネスパーソン）には高い「学び力」が求められています。無の状態からでもあらゆる「学び力」を駆使して前進する（成果を出す）ことのできる力です。「学び力」といっても、受身(与えられること)中心の「学び力」ではありません。課題解決(仕事成果)に向けて、自ら積極的に学び取ろうという意識と行動を伴う「学び力」です。

「学び力」には、「学ぶチカラ（やる気）」と「学び方（学ぶ方法）」が重要となります。「学ぶチカラ」は、精神的なチカラですので訓練することは難しいの

選考方法

1. 申込み条件

研究演習Iの新規所属および研究演習IIでの所属変更(3年次編入時の新規所属も含む)において、当ゼミに申し込みを検討している学生(希望順位に関わらず申込みを考えている全ての学生)は、ゼミ紹介資料(シラバスやその他の紹介資料)を熟読し、本学HPの教員紹介サイトや三谷研究室のHPで教員のことをしっかりと確認し、ゼミ紹介資料を持参のうえ三谷ゼミの個別相談に必ず参加し、ゼミ内容や方針を十分に理解・納得の上で、申し込みをしなければなりません。

なお、研究演習IIでの所属変更(3年次編入時の新規所属も含む)における選考方法も、研究演習Iの新規所属時の選考方法に準じます。また、研究演習IIからの配属が決定した場合、春休み中に事前課題や研究演習IIに相当する課題や活動などを行ってもらいます。理由は、本ゼミの教育方針の特性上、活動の積み上げが重要となるからです。これらの点を十分に理解・納得の上で、申し込みをしなければなりません。

2. ゼミ選びのポイント

評価方法
「講義」の場で作成した成果物による「ねらい」への到達度と共に、「教育」や「その他」の場などでの活動状況からビジネスパーソンに求められる基礎「チカラ」の成長度、これらを総合的に判断し、評価する。

教員英字氏名	研究室
Tetsuo MITANI	研究棟 2612研究室

最終学歴
徳島大学大学院 工学研究科 博士後期課程(生産開発工学専攻) 修了 [1996年03月]

学位
博士(工学)

主な研究活動・社会活動・研究業績
1. 研究活動の概要

三谷研究室では、地域社会におけるより良い暮らしの実現のため、地域内の道路や交通に関わる様々な情報に基づき、交通安全や地区交通の視点から道路や交通空間のあり方の調査・研究を行っています。さらに、地理情報システム(GIS)をはじめとした各種情報システムや情報技術を活用した、道路・交通空間解析や交通安全などの支援システムの開発やその応用の研究も行っていきます。

2. 社会活動/研究業績
詳細は、研究室HPの教員紹介 (http://gis.umds.ac.jp/seminar/prof.html) か大学HPの教員紹介 (https://www.umds.ac.jp/academics/profile/index_ma/mitani) をご覧ください。

趣味・特技

所属
経済学部・経済学科・地域まちづくりコース

所属学会
土木学会, 交通工学研究会, 日本道路協会, ほか

専門分野
・土木工学分野の道路交通に関する交通計画(交通安全/地区交通) ・地域情報処理(地理情報システム(GIS), GPS等の情報システムを活用した地域分析)

担当科目
2026年度の担当科目は、次の通りです；情報倫理, 情報処理入門, 地域情報処理, 専門基礎演習, 研究演習I, 研究演習II, 研究演習III(+卒業論文)【卒業研究(2024年度までの入学学生向け科目名)】、空間市場分析特論(大学院科目)。

備考
所属ゼミ生(これまでの卒業生も含む)からの一言

本腰いれて勉強する気のある人や忙しいのがへっちゃらな人、いらっしゃい。当然ながら、やりがいはたっぷりです。本当に苦労は多いですが、同じ苦労人の先輩がしっかりとフォローしてくれます。GISと聞くと難しそうですが、知れば知るほど面白さの増すものです。また、他のゼミにはないGPSをはじめとする特殊な題材等の珍しいモノが沢山あり、好奇心旺盛な人にとっては天国のような所です。そして、先輩後輩のつながりが強く(まるで兄弟?)、アットホームな感じの大好きな人にとっては、最高のゼミ、そして先生です。ぜひ一緒に会食に行きましょう！やる気さえあれば絶対に成長できるゼミです！

実務経験の有無及び活用
実務経験あり：教員は、都市計画や交通計画などに関わる公的機関での各種の審議会や委員会、協議会の会長などを数多く務めている。そこでの知見や経験などをゼミ活動で紹介する。